



2023年3月期第2四半期 決算説明会

2022年11月30日

 **日本特殊塗料株式会社**
(証券コード 4619 東証プライム)

1. 2023年3月期 第2四半期決算概要
2. 2023年3月期 通期業績予想の概要
3. 中期経営計画の概要（業績目標）
4. 今後の成長戦略

＜参考資料＞

1. 会社概要
2. 主要な経営指標の推移

1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

(1) 2023年3月期 第2四半期決算サマリー

①連結損益計算書 <前期比>

単位：百万円

	2022／3月期 第2四半期		2023／3月期 第2四半期		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	25,085	—	27,916	—	+2,831	+11.3%
売上原価	20,580	82.0	23,209	83.1	+2,629	+12.8%
販売費及び 一般管理費	4,362	17.4	4,704	16.9	+341	+7.8%
営業利益	141	0.6	2	0.0	△139	△98.1%
経常利益	778	3.1	972	3.5	+193	+24.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	118	0.5	339	1.2	+221	+187.4%
1株当たり 四半期純利益	5.44円	—	15.62円	—	+10.18円	—

1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

(1) 2023年3月期 第2四半期決算サマリー

②連結損益計算書 <計画比>

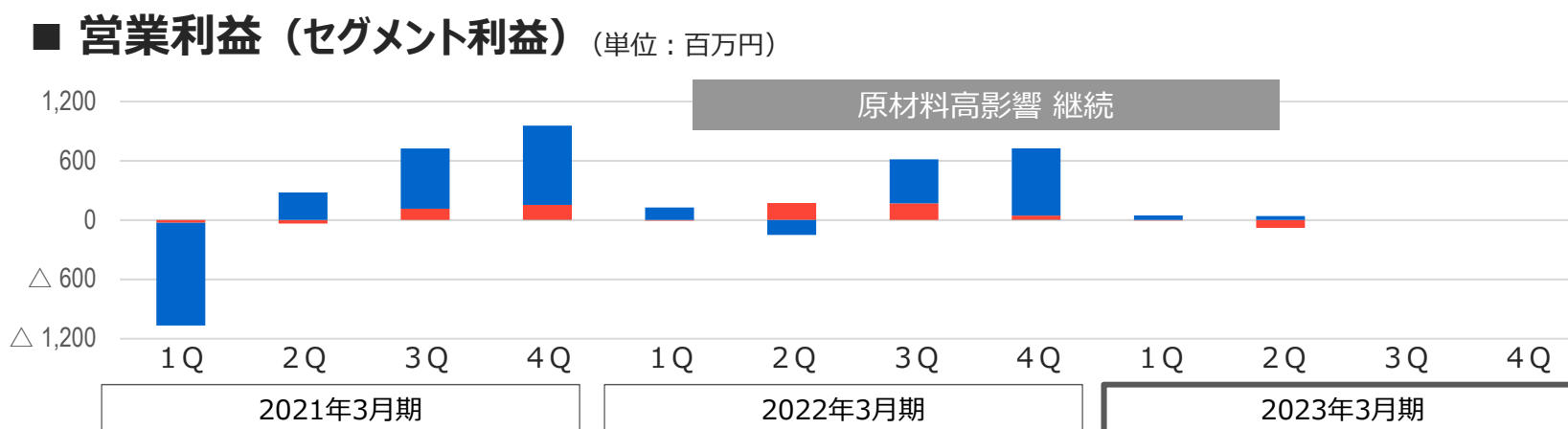
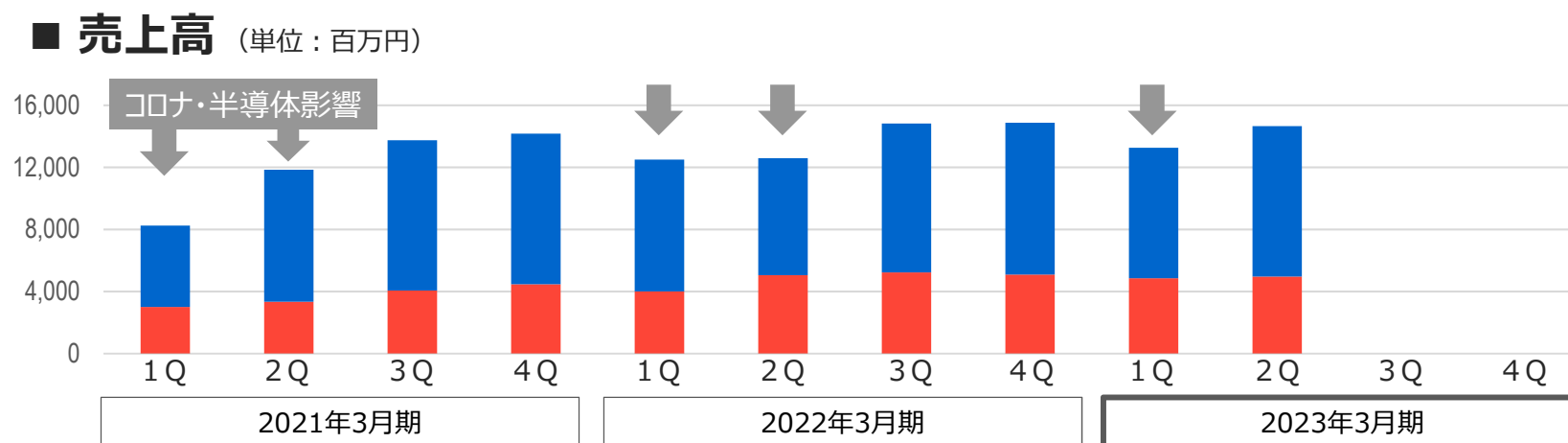
単位：百万円

	2023／3月期 第2四半期		2023／3月期 第2四半期		計画比	
	8月修正計画	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	28,500	－	27,916	－	△583	△2.0%
営業利益	350	1.2	2	0.0	△347	△99.2%
経常利益	1,250	4.4	972	3.5	△277	△22.2%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	750	2.6	339	1.2	△410	△54.7%
1株当たり 四半期純利益	34.53円	－	15.62円	－	△18.91円	－

1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

(1) 2023年3月期 第2四半期決算サマリー

③連結業績の推移（直近3期 四半期推移）



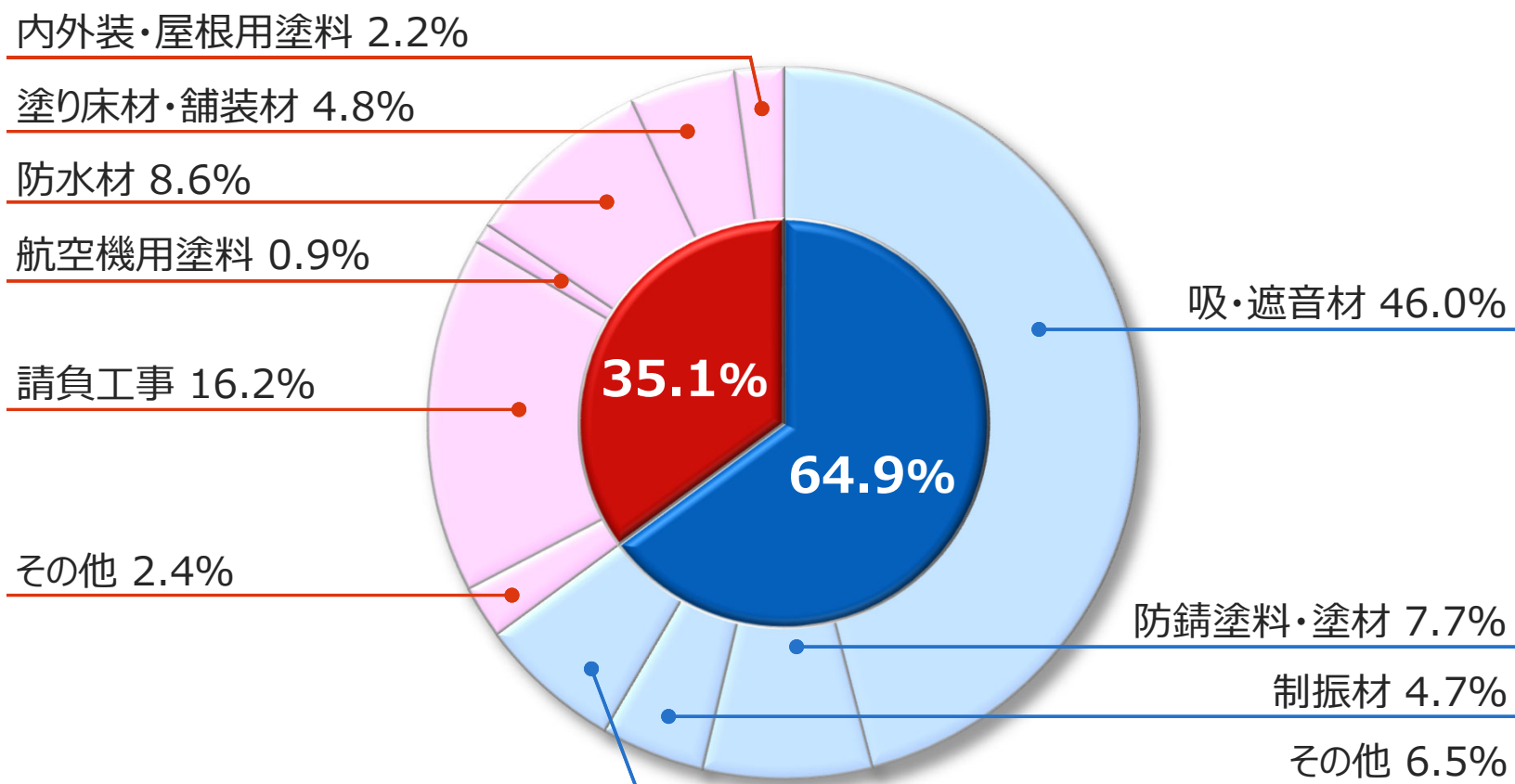
1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

(1) 2023年3月期 第2四半期決算サマリー

④売上高構成比（セグメント / 主要製品別）

塗料事業

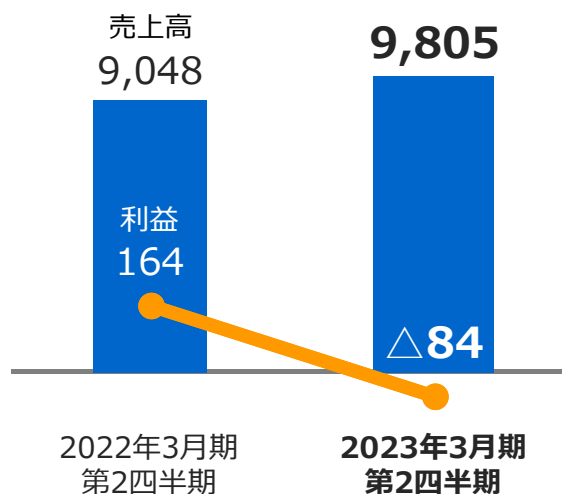
自動車製品事業



1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

(2) セグメント別の状況

① 塗料関連事業



単位：百万円

	22年3月期 第2四半期	23年3月期 第2四半期	増減率
売上高	9,048	9,805	+8.4%
セグメント利益 (利益率)	164 (1.8%)	△84 (－)	－

【売上高】

- ・塗料 前期比 + 7.5%
主力の防水材・床材を中心に建築・構造物用塗料は堅調に推移
- ・工事関連 前期比 + 10.7%
前期に引き続き受注増加し工事も順調に進捗

【セグメント利益】

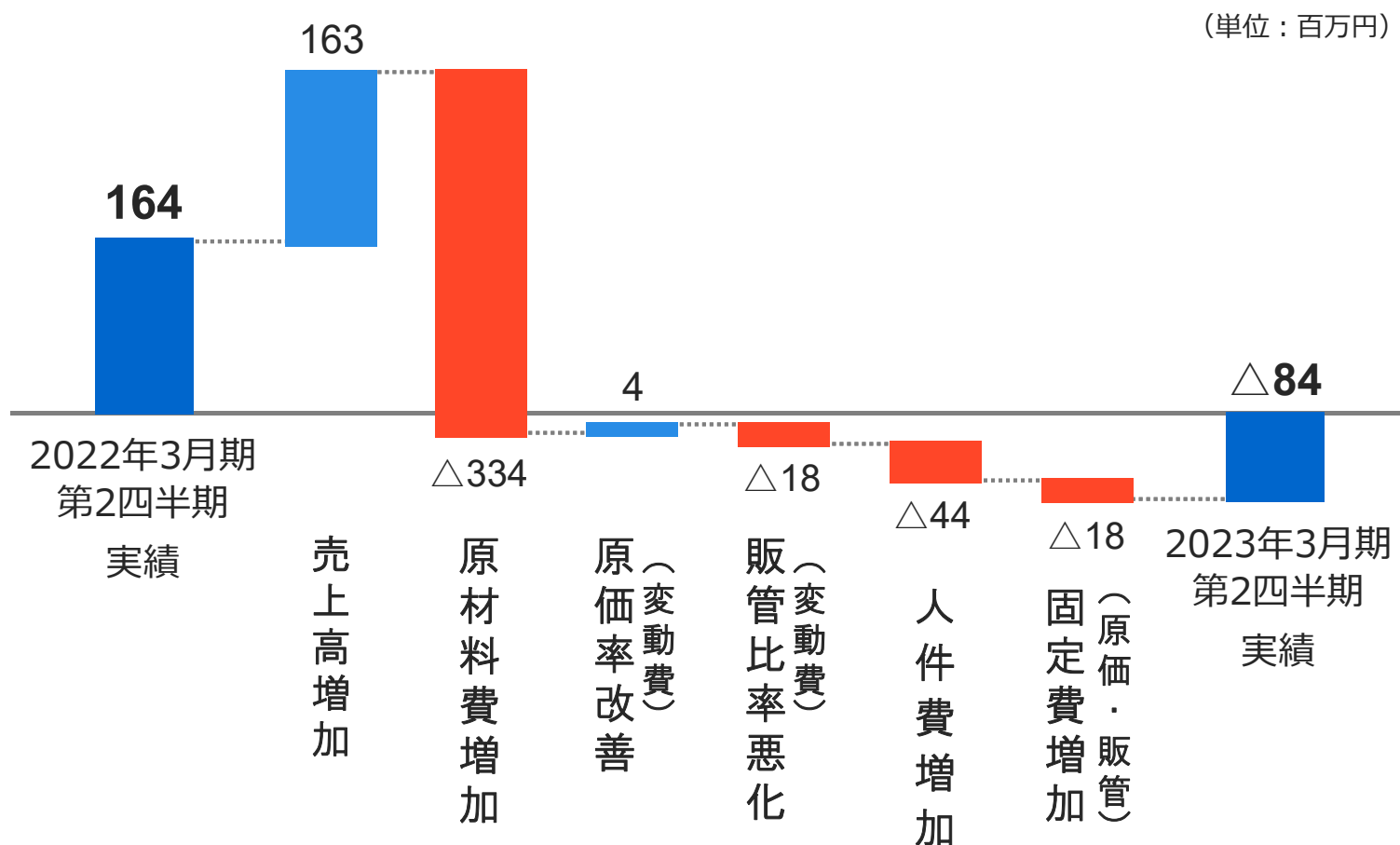
- ・売上高は回復したものの原材料価格高騰の影響大
(要因分析は、次頁参照)

1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

(2) セグメント別の状況

① 塗料関連事業

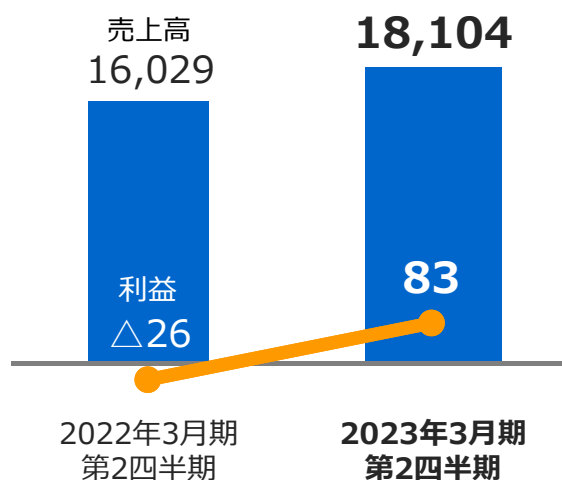
【利益増減要因分析】



1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

(2) セグメント別の状況

②自動車製品関連事業



単位：百万円

	22年3月期 第2四半期	23年3月期 第2四半期	増減率
売上高	16,029	18,104	+12.9%
セグメント利益	△26	83	—
(利益率)	(－)	(0.5%)	

【売上高】

- ・自動車の生産台数回復は若干の遅れ

半導体不足、中国における
ロックダウン等による
サプライチェーン停滞の影響

【セグメント利益】

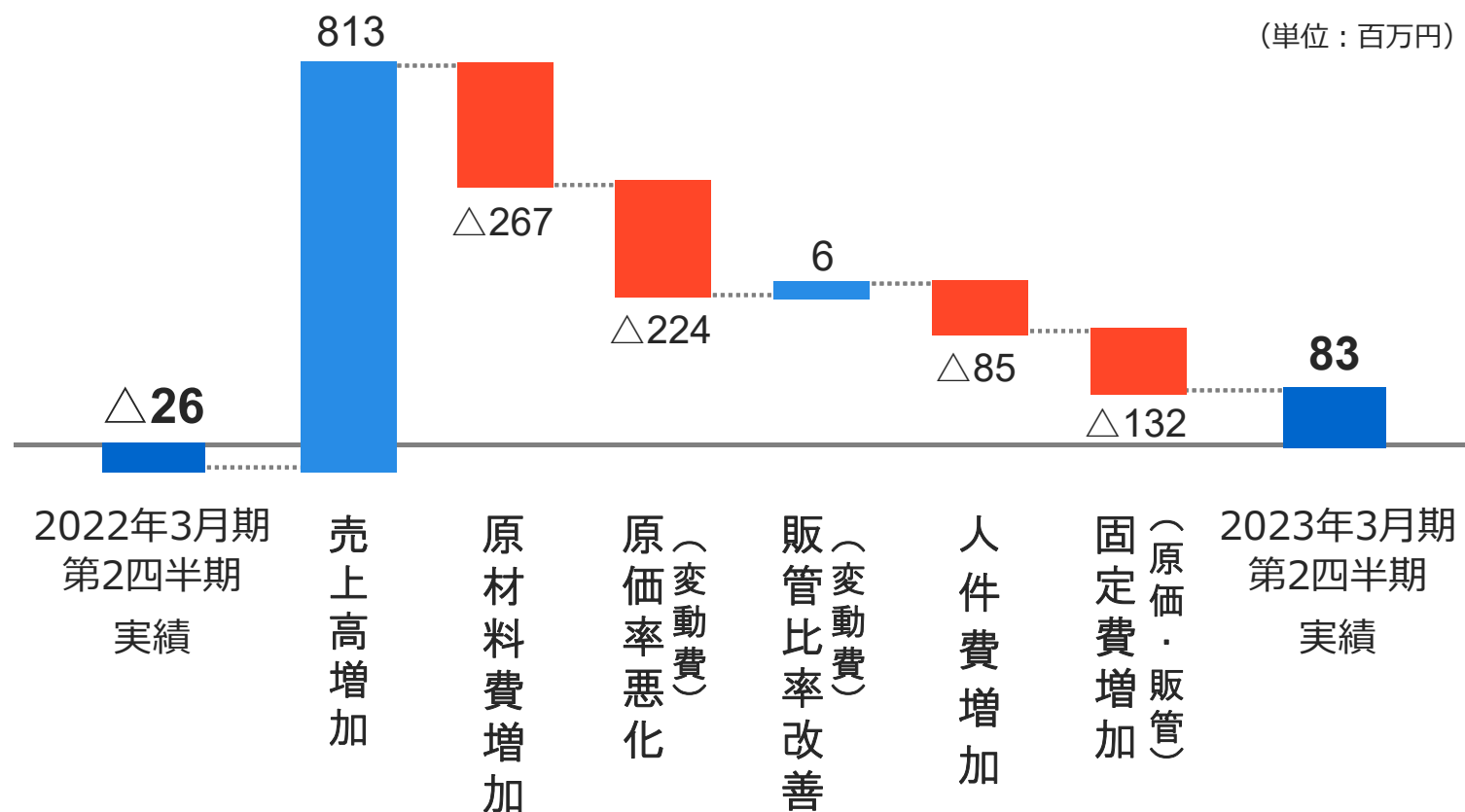
- ・売上高の計画比減少に加え
原材料・エネルギー価格
高騰の影響大
(要因分析は、次頁参照)

1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

(2) セグメント別の状況

②自動車製品関連事業

【利益増減要因分析】



1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

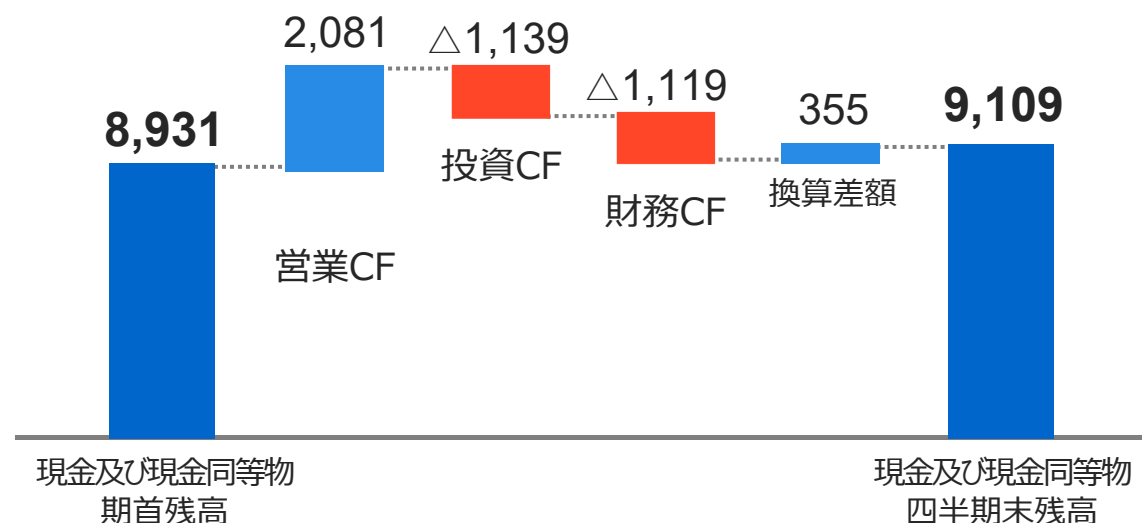
(3) 連結貸借対照表

単位：百万円

	2022／3月期 期末		2023／3月期 第2四半期		前期比 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
流動資産	31,857	39.9	31,167	38.5	△689
固定資産	47,934	60.1	49,890	61.5	+1,955
有形固定資産	25,071	31.4	25,396	31.3	+324
無形固定資産	1,265	1.6	1,356	1.7	+90
投資その他の資産	21,597	27.1	23,138	28.5	+1,540
資産合計	79,792	100.0	81,058	100.0	+1,265
流動負債	22,273	27.9	22,252	27.5	△21
固定負債	7,792	9.8	7,091	8.7	△701
負債合計	30,066	37.7	29,344	36.2	△722
株主資本	38,383	48.1	38,250	47.2	△132
その他の包括利益累計額	5,883	7.4	7,490	9.2	+1,606
非支配株主持分	5,458	6.8	5,973	7.4	+514
純資産合計	49,725	62.3	51,713	63.8	+1,988

1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書



単位：百万円

	22/3月期 第2四半期	23/3月期 第2四半期	前期比増減
現金及び現金同等物の期首残高	6,518	8,931	+2,412
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,511	2,081	$\Delta 430$
投資活動によるキャッシュ・フロー	$\Delta 1,222$	Δ 1,139	+83
財務活動によるキャッシュ・フロー	$\Delta 1,015$	Δ 1,119	$\Delta 103$
現金及び現金同等物に係る換算差額	+165	+355	+190
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,957	9,109	+2,152

2. 2023年3月期 通期業績予想の概要

(1) 2023年3月期 通期業績予想サマリー (2022.11.9修正)

単位：百万円

	22／3月期		23／3月期 期初		23／3月期 修正		前期比 増減率
	実績	構成比	当初計画	構成比	修正予想	構成比	
売上高	54,779	－	61,000	－	60,500	－	+10.4%
営業利益	1,482	2.7	3,000	4.9	1,900	3.1	+28.2%
経常利益	2,625	4.8	4,800	7.9	3,550	5.9	+35.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,300	2.4	3,200	5.2	2,300	3.8	+76.8%
1株当たり 当期純利益	59.90円	－	147.36円	－	105.84円	－	－

※2023／3月期見込（修正後）

持分法投資利益 約 10億円（前期比 約170%増）

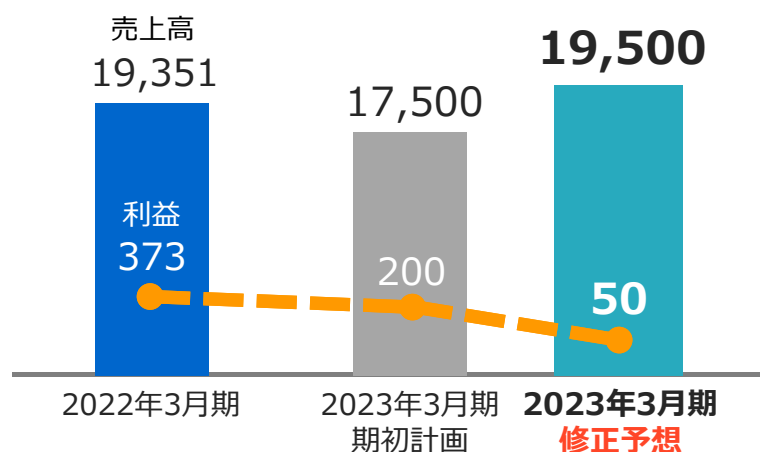
2. 2023年3月期 通期業績予想の概要

(2) セグメント別の状況

【売上高】 工事関連売上伸長、自動車製品は生産台数回復に遅れ

【利益】 原材料・エネルギー価格高騰の影響大

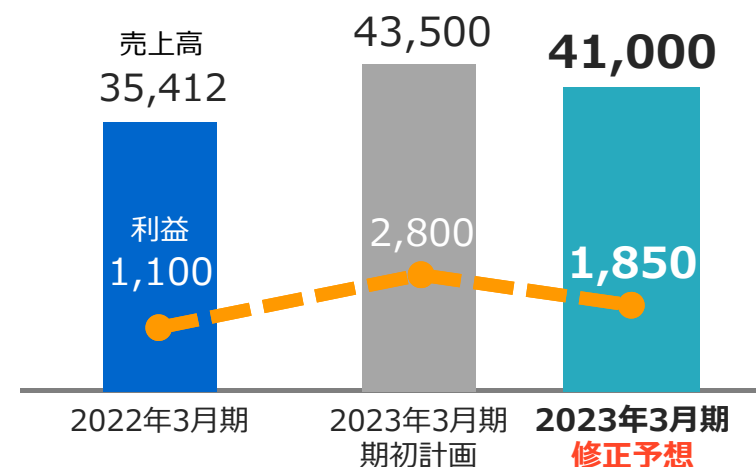
<塗料関連事業>



単位：百万円

	2022年 3月期	2023年 3月期 修正	前期比 増減率
売上高	19,351	19,500	+0.8%
セグメント利益	373	50	△86.6%
(利益率)	(1.9%)	(0.3%)	

<自動車製品関連事業>



単位：百万円

	2022年 3月期	2023年 3月期 修正	前期比 増減率
売上高	35,412	41,000	+15.8%
セグメント利益	1,100	1,850	+68.0%
(利益率)	(3.1%)	(4.5%)	

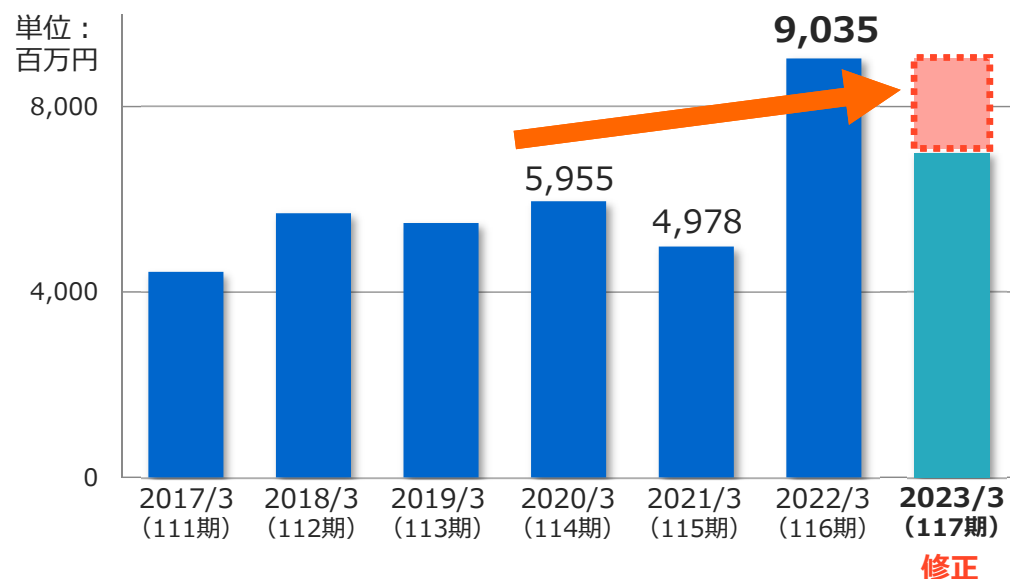
2. 2023年3月期 通期業績予想の概要

(2) セグメント別の状況 <塗料関連事業>

■ 請負工事（集合住宅大規模改修工事）

子会社 ニットクメンテ株式会社において
マンション等の大規模改修、修繕工事を請負
（大都市圏中心に、全国 8 拠点へ展開）

ニットクメンテ 売上高推移

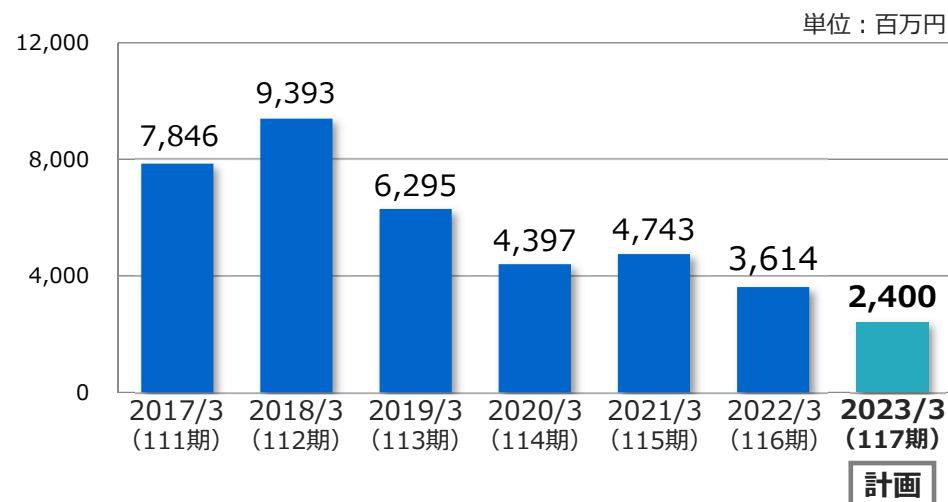


ニットクメンテ(株)によるマンション改修工事

2. 2023年3月期 通期業績予想の概要

(3) 設備投資・減価償却費

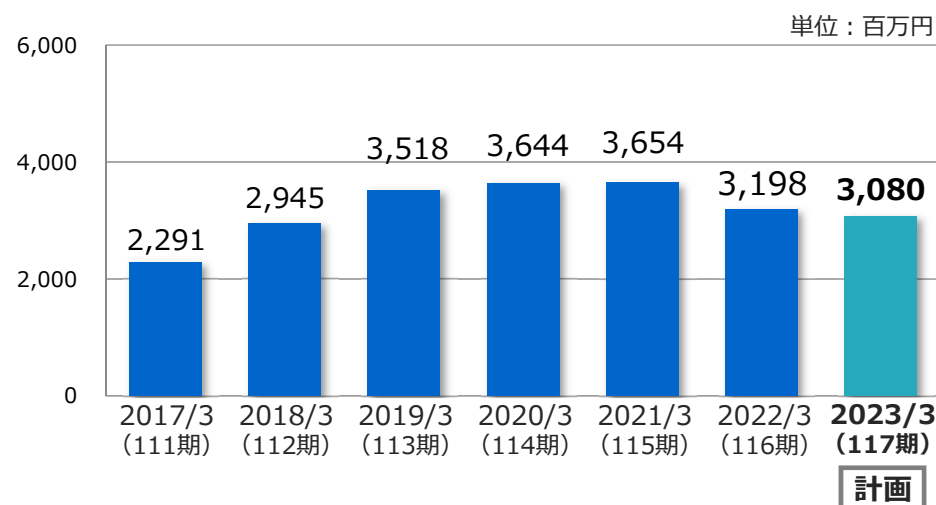
①設備投資（工事ベース）



【設備投資】

- ・大型投資は減少
- ・当面の新規投資は受注動向等で判断

②減価償却費



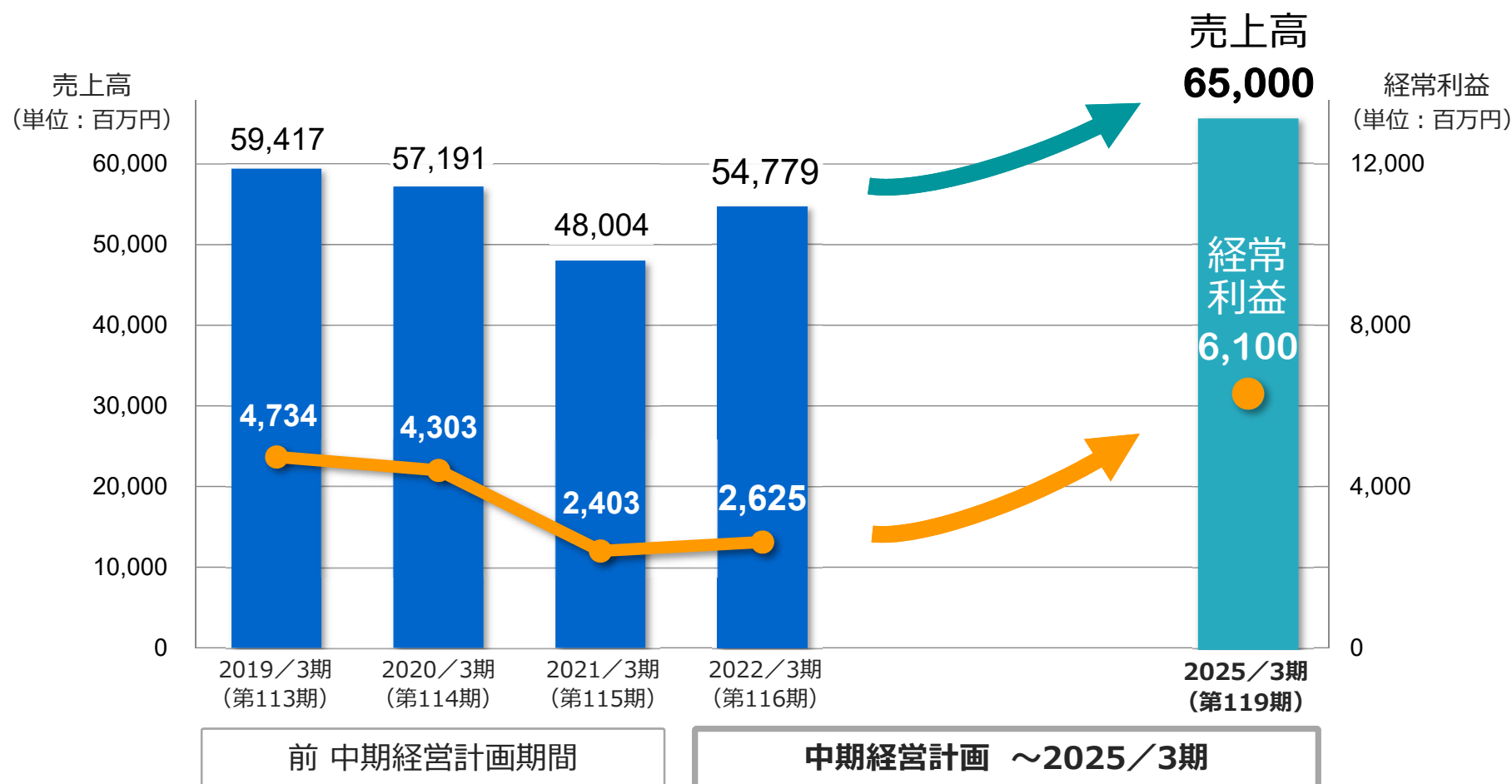
【減価償却費】

- ・2022/3期以降
収益認識基準適用の影響あり
（売上高・費用ともに減）
- ・今後、当面は逡減傾向

3. 中期経営計画の概要（業績目標）

業績目標（最終年度 2025年3月期）

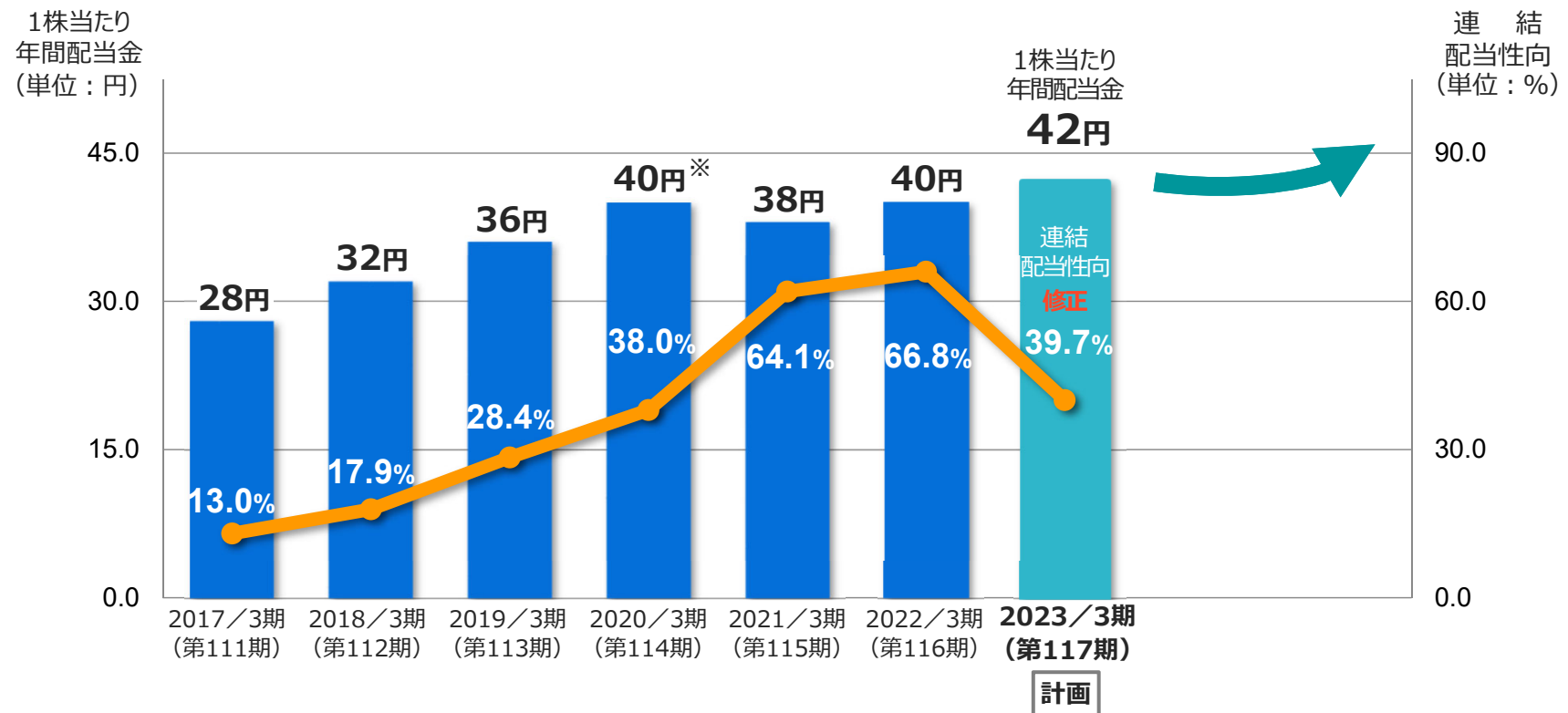
売上高 650億 ・ 経常利益 61億 ・ ROE 10.0 % 以上



3. 中期経営計画の概要（業績目標）

利益還元

安定配当をベースに、戦略的投資に向けた資金充実、財政状態・利益水準、配当性向（30%を目安）等を総合的に勘案し、決定（安定配当 + α ）



※2020/3期（114期）は創立90周年記念配当2円を含む（普通配当38円）

4. 今後の成長戦略

中期経営計画の基本戦略

(2022年3月期 ～ 2025年3月期)

- (1) 国内事業の安定的な収益基盤の構築
- (2) 「技術のニットク」の強化と新技術・新製品開発
- (3) グローバル展開の強化
- (4) D X（デジタルトランスフォーメーション）推進
- (5) サステナビリティ（持続可能性）経営の推進

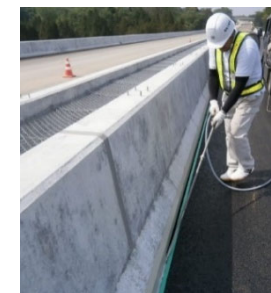
4. 今後の成長戦略

(1) 国内事業の安定的な収益基盤の構築

- ・塗料、自動車製品 両事業において販売価格見直しを推進
(原材料価格高騰への対応)
- ・製品在庫の一元管理、内製化検討を含む生産工法・生産性の改善
- ・リサイクル推進等による産廃処理費用の削減



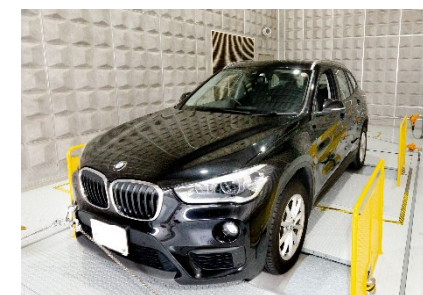
土木分野「床版防水材」



土木分野「端部防水材」

(2) 「技術のニツク」の強化と新技術・新製品開発

- ・土木分野の強化
- ・変化に対応した新技術・新製品開発
モビリティ革命進展を見据え、高い防音性能に加え変化（CASE、カーボンニュートラル、車両構造の変化等）に対応した技術・製品開発



音響解析のための実車テストベンチ（スムーズ&ラフ面）



ISOKELL：防音部品の音響透過損失測定装置

4. 今後の成長戦略

(3) グローバル展開の強化

・技術提携先、海外 J V との連携強化

グローバルで連携を強化し、原価改善、
生産体制最適化（サプライチェーンの強化）

※中国はロックダウン等により、一時的に受注・
生産減少の影響あり

中国に関係会社（J V）4社を展開
その他、北米、インドネシア、タイ等
（32・41ページを参照ください）

持分法適用会社



日特固(广州)防音配件有限公司（中国）

持分法適用会社



天津日特固防音配件有限公司（中国）

連結子会社



武漢日特固防音配件有限公司（中国）
武漢日特固汽車零部件有限公司（"）



WNA 子会社（常福工場）は工場を拡充

4. 今後の成長戦略

(4) D X（デジタルトランスフォーメーション）推進

開発、製造、本社等全部門で、A I（人工知能）を含めた最新デジタル技術を活用し、D Xを推進（E D I システム、P L Mシステム、電子契約・・・）

(5) サステナビリティ（持続可能性）経営の推進

・環境配慮型製品の拡充

CO2排出量削減に寄与する遮熱塗料等の強化・拡充

・マテリアルリサイクル推進（C E 推進）

回収したユニフォーム等の古衣料を自動車用
防音材に再生する古衣料リサイクルを推進

→ 次ページ図参照



優れた遮熱効果で省エネ対策や環境対策にも有効な屋根用遮熱塗料「パラサーモシリーズ」



防音材リサイクルライン



リサイクル繊維を利用した生産設備

4. 今後の成長戦略

(5) サステナビリティ（持続可能性）経営の推進

ニットクグループは自動車産業における古衣料リサイクル技術に着目し
省資源、使用エネルギー削減、廃棄物削減 および CO2排出削減
を推進しています



4. 今後の成長戦略

(5) サステナビリティ（持続可能性）経営の推進

- ・サステナビリティ基本方針の策定、マテリアリティ特定

サステナビリティ基本方針

私たち日本特殊塗料グループ（ニットクグループ）は、『経営の基本理念』や『経営の基本方針』、その他関連する方針等に基づき、環境問題や社会課題の解決、そこに欠くことのできない技術革新に積極果敢に挑戦し、社会の持続的な発展への貢献と持続的な企業価値向上を目指します。

- 卓越した技術と製品により、社会の持続的な発展に貢献します
- すべての事業活動を通じて環境負荷低減に努め、環境に配慮した製品の拡充を図ります
- 多様な人財（材）が、安全で健康的に働ける快適な職場環境の整備、「働きがい」のある活力に満ちた職場づくりを推進します
- 法令や社会規範を遵守し、公正で誠実な企業活動を実践して
ステークホルダーの皆様から信頼され、社会に求められるニットクグループを目指します

4. 今後の成長戦略

(5) サステナビリティ（持続可能性）経営の推進

・サステナビリティ基本方針の策定、マテリアリティ特定

日本特殊塗料グループのマテリアリティ

	マテリアリティ	主な対応策
 環境	① 環境負荷の低減 ② 気候変動への対応 ③ 資源循環型社会の構築	・環境負荷物質の使用低減 ・CO₂排出量の削減 ・廃棄物の削減
 社会	④ 製品品質の向上 ⑤ 多様な人財（材）の活躍 ⑥ 人財（材）育成と「働きがい」向上 ⑦ 安全で働きやすい職場づくり ⑧ 人権の尊重	・安全安心な製品品質の確保 ・性別や経験等にとらわれない多様な人財の活用 ・教育研修体制の整備、ワークライフバランス推進 ・労働安全衛生の推進 ・人権意識の向上
 ガバナンス	⑨ コンプライアンスの徹底 ⑩ ガバナンスの強化 ⑪ サプライチェーン・マネジメントの向上	・コンプライアンス体制の整備と意識向上 ・ガバナンスの実効性向上 ・グリーン調達の推進、CSRガイドラインの浸透

→「CSRレポート2022」に掲載

(https://www.nttoryo.co.jp/csr_top/csr_report.html)

4. 今後の成長戦略

(6) 流通株式時価総額向上に向けた取り組み

移行基準日（2021年6月30日）において、プライム市場の上場維持基準のうち、『流通株式時価総額』が基準を未達。以下取り組みを推進中。

■ 計画期間 ～2025年3月期

■ 時価総額向上に向けた取り組み

- ・中期経営計画に基づく基本戦略の推進
- ・株主還元の充実
- ・サステナビリティ経営の推進
- ・I Rの強化

英文情報開示の充実、投資家の認知度向上、対話の推進

■ 流通株式比率向上に向けた取り組み

- ・持合い株式及び政策保有株式の解消・縮減
- ・自己株式の有効活用策の検討・実施

【 I Rに関するお問合せ先】

日本特殊塗料株式会社 業務本部 財務部
(TEL : 03-3913-6134)

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における業績予想および将来の予測等に関する記述は、資料作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

なお、本資料の内容は今後予告なしに変更することがあります。

＜参考資料＞

1. 会社概要
2. 主要な経営指標の推移

1. 会社概要

(1) 会社概要

■ 商号	日本特殊塗料株式会社 (NIHON TOKUSHU TORYO CO., LTD.)
■ 本社	東京都北区王子3丁目23番2号
■ 創業	1929（昭和4）年6月1日
■ 資本金	47億5,308万円
■ 発行済株式数	23,611,200株
■ 連結従業員数	1,317名（2022年9月末時点） ※臨時雇用者を除く

1. 会社概要

(2) 沿革①

■ 創業～塗料事業の歩み

1929年 日本特殊塗料合資会社として、航空機用塗料の開発からスタート

1930年 「T・T（テー・テー）金属用塗料」を開発

1951年 セメント瓦用塗料「スレコート」を開発

1966年 屋根用塗膜防水材料「プルーフロン」の開発を皮切りに
建築市場に参入

1973年 塗り床材「ユータック」を開発

1975年 航空機用「ポリウレタン塗料」が日本航空ジャンボ機に採用される

1983年 超高弾性壁面防水化粧材「ハイプルーフ」の開発で
技術のニツクを印象づけた

1995年 「スカイハロー・トップコートFLV」を開発

1999年 「スカイハローE」H- II ロケットに採用

2001年 屋根用遮熱塗料「パラサーモ」を開発

2011年 光触媒塗料と同等の超低汚染性の機能を持つ「シルビアセラティール」を開発

2012年 有機無機ハイブリッド系塗り床材「ユータックコンプリート」を開発

2013年 風力発電ブレード用「ウインドハロートップコートF」を開発

2014年 環境対応型建築用塗膜防水材料「プルーフロンエコDX」を開発

2017年 学校環境衛生基準等を満足する「プールエースECO」を開発



1. 会社概要

(2) 沿革②

■ 自動車製品事業への参入と防音材技術の確立

- 1953年 自動車用防音・防錆塗料「ニットク・アンダーシール」を開発
- 1964年 自動車用制振材「メルシート」を上市、防音材メーカーとして歩み始める
- 1967年 防音材メーカー、マテック・ホールディング社（現オートニウム社）と技術提携
- 1968年 吸音材「タカ」を開発
- 1969年 遮音材「タカポール」の開発により、自動車用防音材分野での基礎技術を確立
- 1970年 自動車用遮音材「ダッシュインシュレーター」を開発
- 1978年 自動車用吸音材「ボンネットライナー」を開発
- 1988年 エムス・トーゴー社（現エフテック社）とクロスライセンス契約
- 2001年 超軽量防音システム部品「RIETER ULTRA LIGHT™」※の開発により、従来比30～60%の軽量化を実現
- 2003年 自動車用吸音材「ホイールハウスライナー」を開発
- 2010年 自動車用吸・遮音材「フロアカーペット」・「フロアアンダーカバー」を開発
- 2016年 フロアカーペットのバリエーションに「I F P」工法、「RIETER ULTRA LIGHT™」※のバリエーションに「H A」技術を導入



※「RIETER ULTRA LIGHT™」は、Autoneum Management AG の登録商標です

1. 会社概要

(2) 沿革③

■ グローバル展開 (自動車製品関連事業)

1967年  Matec Holding AG (現:Autoneum Holding AG)
と技術提携

1986年  **UGN,Inc.**を米国に設立

1994年  **SNC Sound Proof Co.,Ltd.** をタイに設立

2003年  日特固(広州)防音配件有限公司(**ANG**)を中国に設立

2004年  天津日特固防音配件有限公司(**TAN**)を中国に設立

2005年  **SRN Sound Proof Co.,Ltd.** をタイに設立

2008年  Rieter Nittoku Automotive Sound Proof Products India Pvt.Ltd.
(現:Autoneum Nittoku Sound Proof Products India Pvt.Ltd.)
(**ANIS**)をインドに設立

2010年  武漢日特固防音配件有限公司(**WNA**)を中国に設立

2012年  PT.TUFFINDO NITTOKU AUTONEUM (**TNA**)を
インドネシアに設立

2013年  UGN,Inc.がメキシコに工場を新設(2017年に工場移転)

2019年  武漢日特固汽车零部件有限公司を中国に設立
(**WNA**子会社)



▲ スイス Unikeller 研究所(当時)



▲ United Globe Nippon, Inc. (当時)



▲ SNCサウンドブルーフ



▲ 日特固(広州)防音配件有限公司(ANG)



▲ 天津日特固防音配件有限公司(TAN)



▲ サミット・リエタ・ニットク
サウンドブルーフ (SRN)



▲ オートニウム・ニットク・サウンドブルーフ
・プロダクツ・インド(ANIS)



▲ 武漢日特固防音配件有限公司(WNA)



▲ PTタフィンド・ニットク・オートニウム
(TNA)



▲ UGN Mexico

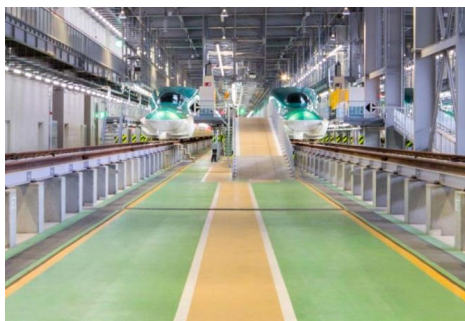
1. 会社概要

(3) 塗料関連事業 主要製品

■ 建築・構築物用塗料

内外装材をはじめ、塗り床材・舗装材、防水材、屋根用塗料等様々な機能性塗料の開発、販売を行なっています。

遮熱塗料は、屋根、外壁、屋上、バルコニーなど建物全般を遮熱し高い省エネ・節電効果を発揮します。



塗り床材「ユータックE-40」
(北海道新幹線函館総合車両基地)



速硬化性弾性FRP防水材「タフシール防水工法」
(坂の上の雲ミュージアム)



屋根用遮熱塗料「パラサーモン」
(サヌキ畜産加工協同組合)

■ 航空機用塗料

苛酷な環境から航空機の機体を保護する航空機用塗料「スカイハロー」は、民間航空会社をはじめ、日本国政府専用機や各航空会社の特別塗装機、さらには宇宙航空研究開発機構の月周回衛星「かぐや」にも採用されています。



AIR DO 特別塗装機 ベア・ドゥ 北海道JET



宇宙航空研究開発機構
「月周回衛星かぐや」

1. 会社概要

(3) 塗料関連事業 主要製品

■ 請負工事（集合住宅大規模改修工事）

子会社 ニットクメンテ(株)において、マンション等の大規模改修、修繕工事を請負

< ニットクメンテ株式会社 >

- ・事業所 東京・大阪・名古屋 他（全国8拠点）
- ・売上高 約90億円（2022年3月期）
- ・株主 当社、積水アクアシステム(株)



■ 建築・構築物用防音材



制振材「イーディケルM-3500SS」が採用された「ノエビスタジアム神戸」(ドーム屋根部分)

■ 鉄道車両用防音材



九州新幹線N700系「さくら」

■ DIY用製品



DIY用製品

1. 会社概要

(4) 自動車製品関連事業 主要製品

■ 吸音材・遮音材

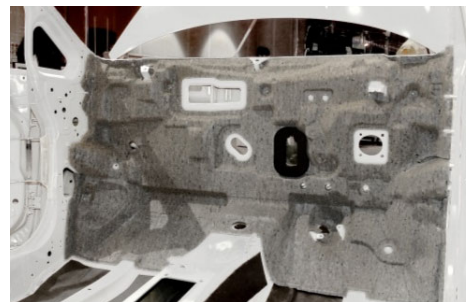
※「RIETER ULTRA LIGHT™」は
Autoneum Management AG の登録商標です



自動車用吸音材「フードインシュレーター」



自動車用吸音材
「トランスミッション
インシュレーター」



超軽量防音システム部品
「RIETER ULTRA LIGHT™」



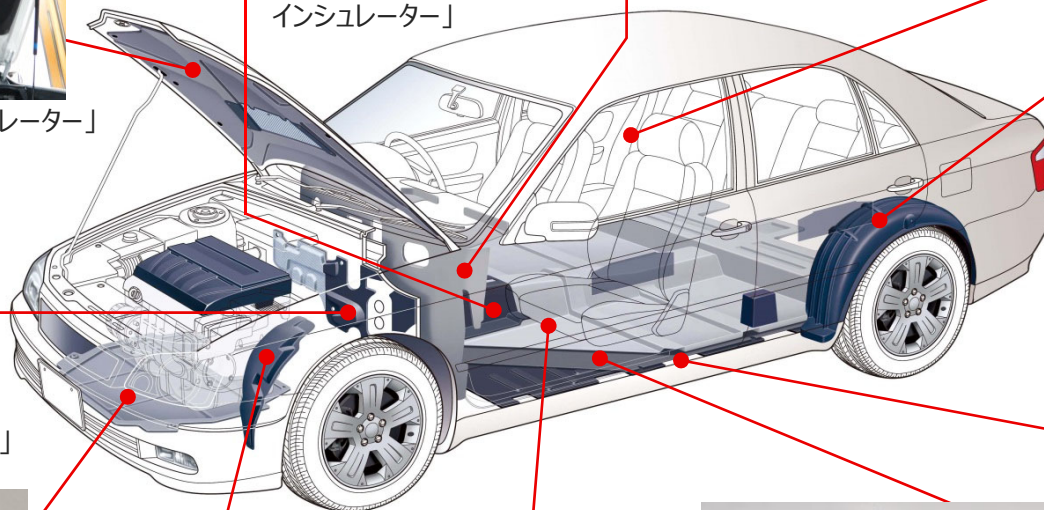
自動車用
吸音材
「吸音ダクト」



自動車用吸音材
「リア吸音
ホイールハウスライナー」



自動車用吸・遮音材
「ダッシュアウターインシュレーター」



自動車用吸音材
「吸音フロア
アンダーカバー」



自動車用吸音材
「吸音エンジンアンダーカバー」



自動車用吸音材
「フロント吸音
ホイールハウスライナー」



自動車用吸音材
「ヒートインシュレーター」

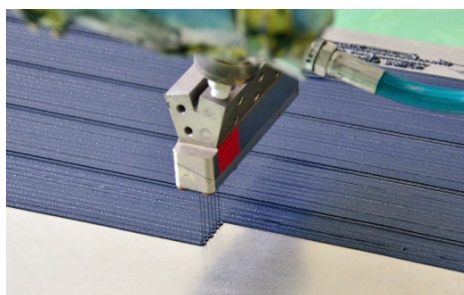


自動車用吸・遮音材「フロアカーペット」

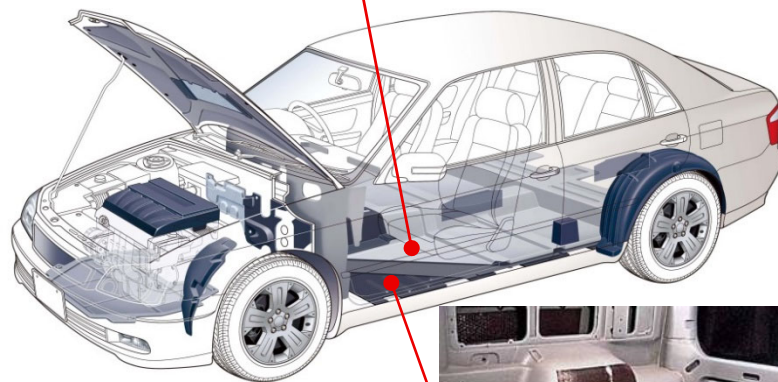
1. 会社概要

(4) 自動車製品関連事業 主要製品

■ 制振材・防錆材



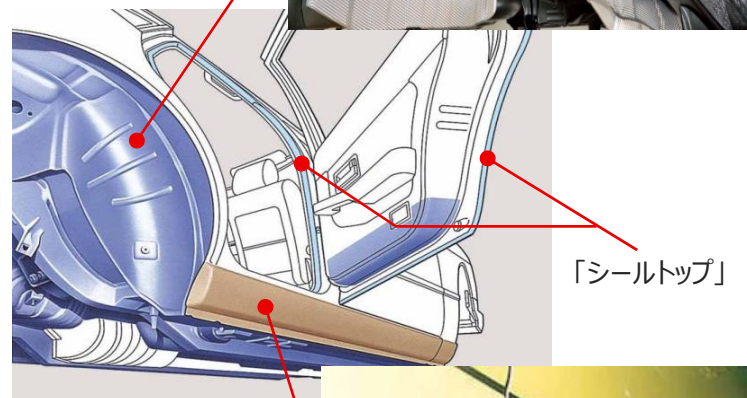
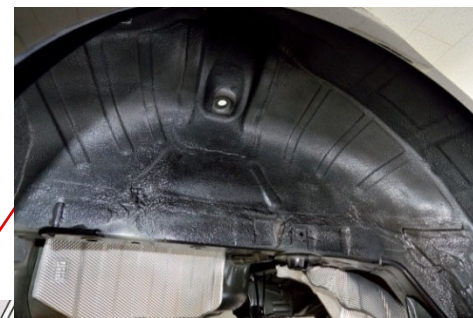
塗布型制振材
「NTダンピングコート」



自動車用制振材「メルシート」

自動車用防錆材・シーラントの 代表的な塗装部位

「NTガードコート」
(PVC系)



「シールトップ」

「NTガードコート」
(PVC系・ウレタン系)



1. 会社概要

(5) 役員・執行役員 <監査役設置会社>

■ 取締役

取締役会長
最高経営責任者(CEO)

野島雅寛

取締役副会長
最高財務責任者(CFO)

田谷 純

代表取締役社長
最高執行責任者(COO)

遠田比呂志

取締役

山口久弥

取締役

安井芳彦

取締役

土井義彦

取締役

鈴木裕史

取締役

中村 信

社外取締役

奈良道博

社外取締役

矢部耕三

■ 監査役

常勤監査役

川名宏一

社外監査役

高橋善樹

社外監査役

松藤 斉

■ 執行役員

執行役員

南雲三智夫

執行役員

栗原洋幸

執行役員

福富雄二

執行役員

力武洋介

1. 会社概要

(6) 基本理念・基本方針

社是

創意工夫

経営の基本理念

卓越した技術と製品により社会に貢献する。

株主の利益を尊重し、社員の人格を大切にする。

環境と共生し、国際標準に準拠しつつ、
永遠の発展を目指す。

1. 会社概要

(6) 基本理念・基本方針

経営の基本方針

創意工夫を社是とし、独自の技術と製品をもって
顧客の要請と信頼にこたえる。

世界に活躍する企業として総合開発力を結集し、
新製品・新需要の開発に挑戦する。

人材の育成・雇用をはかるとともに、一切の無駄を省き、
高生産性・高収益を追求する。

長期ビジョン

塗料と防音材を柱に、快適環境を創造し、
社会に貢献する会社でありたい。

世界中から必要とされ、信頼される“ **nittoku** ”へ
さらに飛躍させたい。

働きに応じて評価され、働き甲斐のある
活力に満ちた会社を創り出そう。

1. 会社概要

(7) 主要事業所・関係会社・パートナー

■ 本社・研究開発拠点



本社



開発センター



塗料技術棟



■ 国内6工場



平塚工場



静岡工場



愛知工場



広島工場



九州工場



東九州工場

1. 会社概要

■ グローバル・ネットワーク（現状）



連結子会社

武漢日特固防音配件有限公司（中国）
武漢日特固汽車零部件有限公司（"）



持分法適用会社

天津日特固防音配件有限公司（中国）

持分法適用会社



UGN, Inc. 本社（アメリカ）



持分法適用会社

日特固(広州)防音配件有限公司（中国）



連結子会社

PT. TUFFINDO NITTOKU AUTONEUM（インドネシア）



持分法適用会社

SNC Sound Proof Co., Ltd.（タイ）



持分法適用会社

SRN Sound Proof Co., Ltd.（タイ）



非連結子会社

Autoneum Nittoku Sound Proof Products India Pvt. Ltd.（インド）

1. 会社概要

■ グローバル パートナー

< Autoneum（オートニウム）社 >

① Autoneumとの技術提携関係（防音部品）

1967年以来、50年を超えるアライアンス

- グローバル戦略
- 音響解析技術・評価技術・製品開発の共有
- 北米はじめアジア各国で当社とJ Vを設立

② Autoneum社の概要

- ・上場企業（SIX Swiss Exchange）
- ・純売上高 1700.4 million CHF（約2,300億円）
- ・スイス本社、グローバルに53拠点、進出先24ヵ国
- ・従業員数（グループ全体） 約11,800名
- ・世界でも有数の音響解析/評価技術と熱解析技術を有し
自動車音響製品および耐熱対策の分野で
世界の自動車産業に製品等を供給する防音材トップメーカー

1. 会社概要

■ グローバル パートナー

< EMS-EFTEC社 >

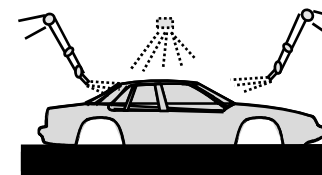
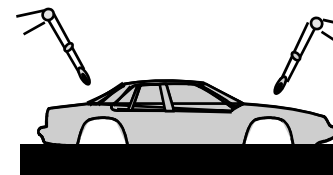


①EMS-EFTEC社の概要

- ・EMS-CHEMIE HOLDING AG の子会社 EMSグループ
- ・EMSグループ「High Performance Polymers」事業
売上高 約 2,000 million CHF*（約2,700億円） *EFTEC社含む事業全体
- ・スイス本社、欧州中心に 北・中南米、中国、タイ、インド 等へ進出

②EMS-EFTEC社の製品群

- ・板金、組立、塗装の各工程用の
接着剤、塗材、シーリング材、制振材



2. 主要な経営指標（連結）の推移

	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期
売上高 (百万円)	32,781	39,391	39,570	43,812	47,998	57,260	59,417	57,191	48,004	54,779
営業利益 (百万円)	461	1,303	1,629	2,961	3,162	3,286	2,973	2,827	858	1,482
経常利益 (百万円)	1,805	3,328	4,036	5,533	6,741	5,881	4,734	4,303	2,403	2,625
当期純利益 (百万円)	1,543	2,712	3,029	3,966	4,778	3,960	2,795	2,318	1,301	1,300
1株当たり 当期純利益 (円)	69.80	122.69	137.00	179.37	216.11	179.12	126.74	105.34	59.27	59.90
総資産 (百万円)	38,762	47,960	53,428	56,894	66,987	76,655	73,572	72,067	75,502	79,792
純資産 (百万円)	21,268	26,794	31,385	34,235	39,539	43,674	43,958	45,062	47,154	49,725
配当金 (円)	10.0	12.0	12.0	20.0	28.0	32.0	36.0	40.0	38.0	40.0
配当性向 (%)	14.3	9.8	8.8	11.2	13.0	17.9	28.4	38.0	64.1	66.8
自己資本比率 (%)	53.4	53.6	56.2	57.1	54.9	52.5	54.7	56.8	56.4	55.5
R O E (%)	7.9	11.7	10.9	12.7	13.8	10.3	6.9	5.7	3.1	3.0

【 I Rに関するお問合せ先】

日本特殊塗料株式会社 業務本部 財務部
(TEL : 03-3913-6134)

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における業績予想および将来の予測等に関する記述は、資料作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

なお、本資料の内容は今後予告なしに変更することがあります。